

## VI 看護職員の研修等実施状況



1 県が主催した研修

(1) 本庁等が実施したもの

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・ 受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
<b>医師・看護職員確保対策課</b>				
看護職員臨地 実習指導者養成講習会 (新潟県看護 研修センター)	R6.9.10 ~R6.12.9	(1)看護師等学校養成 所の実習施設に勤務 する者で、実務経験 3年以上を有する者。  (2)原則として年齢45 歳未満の保健師、助産 師、看護師である者。  (3)現在、実習指導者 の任にある者または、 次年度に上記(1)の実 習施設の実習指導者 となる予定にある者。  受講者 30名 修了者 30名	【基礎分野】 (e-ランニング受講) 「教育原理」 「教育方法」 「教育心理」 「教育評価」  【専門分野】 (e-ランニング受講) 「看護論」 「看護教育課程論」  「実習指導方法論」 (オンライン受講)  ・実習指導の原理と実際  ・カンファレンスでの指 導  ・看護過程  ・基礎看護学  ・成人看護学  ・老年看護学  ・小児看護学  ・母性看護学  ・精神看護学  ・地域・在宅看護論  ・看護の統合と実践	細川 和仁、山岸利次 藤江 康彦 太田 信夫 松田 岳士  深井 貴代子、手島 恵 川口 賀津子、石束 佳子、齋藤 裕子 水方 智子、大谷 弘恵、四俣 芳子 佐保 美奈子  長岡崇徳大学 教授 近藤 ふさえ  新潟県立看護大学 教授 岡村 典子  新潟薬科大学 教授 石綿 啓子  県立吉田病院附属看護専門学校 教務主任 貝瀬 雅弘 新潟看護医療専門学校 副校長補佐 齊藤 静子 長岡赤十字看護専門学校 実習調整者 高橋 裕子 県立十日町看護専門学校 専任教員 渡辺 菜実子 国際メディカル専門学校 学科長 西山 美夏 上越看護専門学校 副校長 鳥越 千穂 厚生連中央看護専門学校 専任教員 藤木 貴子 国立病院機構新潟病院附属看護学校 専任教員 高梨 亜紀子

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・ 受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
			「実習指導方法演習」 (演習)	【実習指導の授業デザインと授業リフレクション】  元藤沢市教育文化センター 目黒 悟 岩手保健医療大学 教授 永井 睦子 ゆきぐに大和病院 看護師 星 翔子 県立新発田病院附属看護専門学校 専任教員 齋藤 ひろみ 三条看護・医療・歯科衛生専門学校 副校長 金子 陽子 西蒲中央病院 看護師 五十嵐 和彦 桑名病院 看護師 和泉 霧可
看護学生公衆 衛生・在宅・母 性看護実習指 導者研修会 (オンライン)	R6.11.6 R6.11.8 R6.11.12 R6.11.19 R6.11.25	公衆衛生看護学、地 域・在宅看護論及び母 性看護学の実習施設 における実習指導者 及び予定者  受講者 37名 修了者 37名	「教育方法」 「看護教育課程」 「実習指導の実際(母性 看護学・助産学)」 「実習指導の実際(地 域・在宅看護論)」 「実習指導の実際(公衆 衛生看護学)」	新潟青陵大学 教授 中村 恵子 新潟大学医学部 准教授 井上 智代 新潟医療福祉大学 准教授 山口 典子  新潟県立看護大学 准教授 関 睦美 新潟青陵大学 教授 坪川 トモ子
看護教員再教 育事業 「看護教員キ ャリアアップ 研修」 (講義演習:新 潟自治労会館) (オンライン)	R6.7.12  R6.8.1  R6.9.12  R6.10.21	看護師等学校養成所 (大学を除く)に勤務 している専任教員  受講者 13名	「臨床判断能力と臨床 判断モデルについて」 (オンライン)  「看護基礎教育課程に おける臨床判断能力の 育成方法」 (オンライン)  「臨床判断能力育成に 関する教育の共有、ワー クショップ:シミュレー ションの計画」 (対面抗議・演習)  「ワークショップ:シミ ュレーションの計画と 共有」 (対面演習)	聖路加国際大学 准教授 三浦 友理子

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・ 受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
新人看護職員 教育担当者研 修	R6.12.6  R6.12.20	1) 新人看護職員研修 の部署の教育担当者 の看護職(准看護師除 く) 2) 2日間を通じて参加 できるもの  1日目 受講者 30名 2日目 受講者 28名	講義 ・新人看護職員研修につ いて改めて理解する ・看護基礎教育の現状に ついて グループワーク ・「自施設の新人看護職 員研修の実施と課題 ・」 ・「新人看護職員研修の 課題と解決方法」 講義 ・教育担当者としての役 割 ・集合研修とOJTの在り 方、実地指導者の育成・ 支援について グループワーク ・「新人看護職員研修に おける具体的な解決策」 ・「新人看護職員研修に おける具体的な取り組 み」	新潟県立看護大学 基礎看護学領域 教授 岡村 典子
保健師専門研 修	R6.7.24	1. 市町村及び県に勤 務する保健師でキャ リアレベルA-1の 獲得を目指す者(採用 1年目相当) 45名 2. 上記保健師の指導 者、プリセプター等 55名	講義 「公衆衛生看護に おける専門能力の獲得」 グループワーク1「採用 後の活動を振り返る」 講義 「先輩保健師1年 目の地域活動」 グループワーク4 「今後の目標の設定」	新潟大学大学院保健学研究科 教授 佐藤 美由紀  長岡市福祉保健部健康増進課 保健師 廣井 ゆい 三条市子ども家庭サポートセンター 技師 阿部 妃来
保健師専門研 修	R6.8.28 ~ R6.8.29	市町村及び県に勤務 する保健師でキャリ アレベルA-1の獲 得を目指す者(採用2 年目相当)  30名	1. グループワーク 「保 健師専門研修 の課題 発表」 2. グループワーク -1 「地域における保健師 の活動と役割~個別支 援~」 3. 実践報告「市町村の保 健活動の実際と保健師 の役割」 4. グループワーク -2 「地域における保健師 の活動と役割~地域診 断~」	新潟大学大学院保健学研究科 准教授 井上 智代  上越市健康福祉部健康づくり推進課 保健師 山田 麻由  新潟大学大学院保健学研究科 准教授 成田 太一

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・ 受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
保健師専門研修	R6.10.16	市町村及び県に勤務する保健師でキャリアレベルA-1の獲得を目指す者(採用3年目相当)  27名	1. グループワーク 「専門研修(個・集団・地域の健康課題の連続性と保健師活動の検討シート)の課題発表」 2. グループワーク 「PDCAサイクルに基づく保健活動の検討～健康課題への保健活動の整理～」 3. 実践報告「保健師活動の実際～PDCAサイクルに基づく保健活動～」 4. 講義「PDCAサイクルに基づく保健活動の施策化に向けて」	新潟大学大学院保健学研究科 准教授 井上 智代 准教授 成田 太一  新潟地域振興局健康福祉部地域保健課 保健師 本間 小貴  新潟大学大学院保健学研究科 教授 佐藤 美由紀
保健師専門研修	R6.8.22 R6.12.18	(1)市町村及び県保健所等に勤務する保健師で、自治体保健師の標準的なキャリアラダー(専門的能力に係るキャリアラダー)A-3の能力の獲得が必要な者(業務経験は7～10年目を目安とする) (2)昨年度までの当研修の対象者(上記(1))で、未受講の者 業務経験年数は、育児休業等休業期間を除いて計算する  39名	【第1回】 グループワーク 「研修レポートに基づく検討～PDCAサイクルに基づく活動展開と中堅保健師の実践能力～」 グループワーク 「私の保健師としてのビジョンを考える」 講義 「未来を担う中堅保健師の力量形成と保健所の中核的な機能」 【第2回】 講義 「行政保健時の現状と人材育成について」 グループワーク 「第1回目の研修後の実践について」 グループワーク 「中堅保健師としての現状の共有と課題の明確化」 グループワーク 「中堅保健師としての役割を果たすために」	長岡崇徳大学看護学部 教授 平澤 則子  新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課 看護職員確保・育成係 副参事 大戸 奈穂子

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・ 受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
保健師リーダー 研修会	R7.1.30	1. 市町村の統括的保健師又は保健師の総合調整や指導的立場にある保健師等  41名  2. 県地域振興局健康福祉(環境)部の統括保健師又は統括保健師補助者等  12名	1. 情報提供 「災害時の保健活動について～令和6年度能登半島地震へのDHEATとしての派遣を踏まえて～」 2. 話題提供 「新潟市西区の液状化被害における保健活動の調整」 「新発田地域災害保健活動の取り組み」 3. グループワーク 「災害に備えた平常時の取り組みについて」 4. 情報提供 「災害時における保健師等の応援派遣について」	新潟県福祉保健部福祉保健総務課 参事 相馬 幸恵  新潟市保健所保健管理課 補佐(副参事) 水野 佐智子  新発田健康福祉環境部 副部长(企画調整課長) 八子 円  新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課
災害時保健活動研修会 (オンライン)	R6.11.5	災害時保健活動に従事する市町村及び県の保健師  246名	1. 実践報告 「令和6年能登半島地震における派遣活動報告～新任保健師として感じたこと、学んだこと～」 2. 講義 「災害時の保健衛生活動の基礎知識と二次的健康被害の予測と予防」 3. 演習 「平時から必要な準備～発生直後の初動対応を中心に～」 4. グループワーク 自身や組織で必要な取組を考える	新潟県福祉保健部国保・福祉指導課 国民健康保険係 技師 平田 希実  新潟大学医学部災害医療教育センター 特任教授 高橋 昌 特任講師 中込 悠 特任准教授 伊藤 宏保 特任助教 小山 明日香

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・ 受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
新任期保健師 指導者研修会	第1回 R6.6.20 (ワライ)	1.市町村及び県の新任期保健師を直接指導する立場にある保健師	【第1回】 1.グループワーク 「新任期保健師への支援の現状と課題と考えていること」 2.講義 「新任期保健師を育てる支援」 3.グループワーク 「新任期保健師を育てる支援の実践にむけて」	新潟県立看護大学 教授 高林 知佳子
	第2回 R6.11.14	2.管内市町村に新任期保健師がいる又は管内市町村に保健師の採用予定がある県地域振興局健康福祉(環境)部の現任研修担当保健師 3.その他、職場内で保健師現任教育にかかわる保健師  第1回 49名 第2回 32名	【第2回】 1. 情報提供 「支援・指導の実施状況について」 2.グループワーク 「新任期保健師への支援を振り返る～支援の課題と解決策～」 3.講義 「指導者も成長する新任期保健師への支援」 4.グループワーク 「新任期保健師の成長を支援するためにめざしたいこと」	

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
<b>健康づくり支援課</b>				
健康づくり実践 指導者研修 (新潟県健康づ くり・スポ-ツ医 科学センター)	通年 (3ヶ月 1コースで 6回開催)	健康づくり対策、健診 ・保健指導に携わる者 等 (県、市町村、医療機 関、医療保険者等) 44名	運動、栄養、休養の3つの側面から 3か月間にわたってサポートを行う 健康づくり事業「生活習慣しっかり 改善コース」の参加体験研修及び見 学・実習研修	健康づくり・スポーツ医科学 センター職員
特定健診・保健 指導に関する研 修 (初任者編)	R6.6.27 R6.7.8	医療保険者の健診・保 健指導に従事する者、 市町村衛生部門等にお いて生活習慣病予防対 策を担当する保健師、 管理栄養士等、健診・ 保健指導事業の委託先 となる健診機関等で、 健診・保健指導に従事 する者等 118名	特定保健指導初任者を対象に、特定 健診・特定保健指導の基本的な考え 方や特定保健指導の基礎・実践につ いて学ぶ研修	新潟大学大学院医歯学総合研 究科 特任教授 加藤 公則  新潟青陵大学看護学部看護学 科 特任准教授 齋藤 智子  新潟県健康づくり財団職員  新潟県国民健康保険団体連合会 職員  国保・福祉指導課職員  健康づくり支援課職員等
新潟県糖尿病・ CKD 対策従事者 研修会 (自治会館別館 【ハイブリッド 開催】)	R6.7.17	市町村・地域振興局 健康福祉(環境)部、 医療保険者の糖尿病・ CKD 対策従事者等 226名	より早期からの介入を重視した CKD 対策の取組を推進するため、糖尿 病・CKD 対策従事者が必要な知識を 習得することを目的とした研修	新潟大学大学院医歯学総合研究 科腎研究センター 特任准教授 細島康宏 立川綜合病院 薬剤部 早川兼司 新潟県立大学人間生活学部 准教授 村山稔子 長岡赤十字病院 看護部 佐藤佳菜子 新潟県国民健康保険団体連合会 職員 新潟県国民健康保険団体連合会 職員 健康づくり支援課職員

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
<b>高齢福祉保健課</b>				
看護職員認知症 対応力向上研修  (新潟テルサ)  天候の影響により、第3回のみ オンライン開催	R6.8.19  R6.8.29  R6.9.2	県内医療機関 に勤務する指 導的役割の看 護職員   79名	[1日目] 1 認知症に関する知識 1-1)意義と役割 1-2)認知症の病態論 1-3)施策・社会資源等 2 認知症看護の実践対応力 2-1)認知症の人の理解 2-2)実践対応力  [2日目] 2 認知症看護の実践対応力 2-2)実践対応力 (演習) 2-3)実践対応力 3 体制構築・人材育成 3-1)認知症ケア体制構築  [3日目] 3 体制構築・人材育成 3-1)認知症ケア体制構築(演習) 3-2)スタッフ育成・教育 3-2)スタッフ育成・教育(演習)	三島病院 認知症疾患医療センター 副センター長 日本認知症学会専門医 田中 晋  上越総合病院 老人看護専門看護師 竹内 真奈美  長岡中央総合病院 認知症看護認定看護師 栗和田 直樹  県立坂町病院 認知症看護認定看護師 小林 真由美  新潟南病院 認知症看護認定看護師 古川 望  信楽園病院 看護副部長 鈴木 香織
病院勤務以外の 看護師等認知症 対応力向上研修	R6.9.13	県内の病院勤 務以外(診療 所、訪問看護ス テーション、高 齢者施設等)の 看護師   242名	1 基本的知識 ・研修の目的・意義 ・認知症とは ・認知症の危険因子・予防  2 地域における実践編 ・認知症ケアの基本 ・認知症の人の意思決定支援について ・認知症の人とのコミュニケーションの基本 ・アセスメントのポイント ・BPSD への対応の基本 ・家族・介護者への支援 ・多職種連携の意義と実際  3 社会資源等 ・認知症施策の全体像 ・認知症の人への支援の仕組み ・認知症の人への支援に関する主な制度等	介護付有料老人ホーム ナースホーム長岡北 認知症看護認定看護師 小林 晃子  新発田リハビリテーション病院 認知症看護認定看護師 清水 博美

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・受講者数	研修内容	講師 (敬称略)
看護職員認知症 対応力向上ステ ップアップ事業 報告会  (新潟県自治会 館別館及びオン ライン)	R6.7.5	県内の病院に 勤務する看護 職員等  75名	1 講演「身体拘束ゼロの認知症ケア」 2 モデル病院における取組報告 ・新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院 ・魚沼市立小出病院 ・新潟県立がんセンター新潟病院	大誠会内田病院 認知症看護認定看護師 中村 幸恵

研修名 (研修場所)	実施 年月日	対象・受講者 数	研修内容	講師 (敬称略)
<b>障害福祉課</b>				
自殺対策研修 「自殺予防と対 策 ～看護職がゲ ートキーパーとし ての機能を果 たせるために ～」  オンライン研修(Zoom)	第1回 R6.7.22  第2回 R6.11.11	看護職(保・ 助・看・准)・ 精神保健福 祉関係職 員・介護福祉 関係職員等 自殺ハイリスク者 の支援に当 たる職員  合計125名	1.情報提供 「新潟県の自殺の現状と対策」 新潟県福祉保健部障害福祉課 主任  2.講義 「自殺対策 どう気づいて、どう対処するか～ いのちを守るために大切なこと～」 講師：新潟市こころの健康センター 所長 福島 昇  3.講義 ・演習 「自殺・自傷を防ぐための支援～苦しみを理解 し支える面接～」 講師：新潟青陵大学 福祉心理学部 准教授 関谷 昭吉  4.実践報告 新潟県いのちとこころの支援センター 専門相談員	研修内容欄に記載。

(2) 地域振興局健康福祉(環境)部が実施したもの

ア 保健師等業務研究会開催状況

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
<b>新発田</b>			
新発田地域 行政保健師 業務研究会  第1回 R6.12.26	市町保健師 32 県保健師 5 計 37名	<p>【目的】 新発田地域の行政保健師が意欲的に働き続けられるようになることを目指し、保健師に求められている役割や能力等を再確認するとともに、共に育ちあう環境づくりを考えることを目的として研修会を開催する。</p> <p>【内容】 講義テーマ 「保健師は人々のポジティブヘルスの推進者！」 講義及び演習(2人1組) 発表</p>	大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 教授 岡本 玲子
新発田地域 行政保健師 業務研究会  第2回 R7.2.18	市町保健師 18 県保健師 5 計 23名	<p>【目的】 保健師の資質向上や人材育成の課題を抱えている自治体も少なくないことから、動機づけ面接を効果的に活用した保健師の資質向上や人材育成の手法を学ぶことを目的とし研修会を開催する。</p> <p>【内容】 講義及び演習 「動機づけ面接を活用した保健師の育成」</p>	札幌学院大学 人文学部 教授 北田 雅子
<b>佐渡</b>			
保健師業務 研究会  R6.11.19	市保健師 27 県保健師 5 計 32名	<p>【目的】 災害による健康危機発生時、被災地の自治体保健師としての対応や受援を想定した平時からの備えを理解し、それらの役割を果たす上での課題を明確化すること。</p> <p>【内容】 (1) 報告「令和6年能登半島地震における保健師等チーム派遣での活動報告」 内容：避難所避難者の健康調査やマッピング、ラピッドアセスメントを使用した避難所アセスメント等を実施したこと。 (2) 講義「保健師が行う災害時保健活動とは～災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の派遣を通じて～」 内容：被災地の統括保健師とこまめな話し合いを行い、健康課題を整理・可視化し、進捗管理を支援したこと。災害発生時に備えて、保健師一人ひとりの初動対応のイメージづくりが必要なこと等。 (3) グループワーク テーマ「災害時の保健活動における課題について」 内容：講義等の感想の共有や所属ごとに、災害発生時からの具体的な行動を整理した。</p>	新潟県新潟地域振興局 健康福祉部地域保健課 主査 大塚 旭  新潟県福祉保健部 福祉保健総務課 参事(健康危機管理担当) 相馬 幸恵  新潟県福祉保健部 福祉保健総務課 参事(健康危機管理担当) 相馬 幸恵

イ 新採用・中堅・リーダー保健師研修会実施状況

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
<b>新発田</b>			
保健師 専門研修 第1回 R6.10.28	市町村保健師 9 県保健師 1  計 10名	<p>【目的】</p> <p>(1) 公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法が理解できる。</p> <p>(2) 採用後の活動を振り返り、自己の課題に気づき、今後の目標を設定することができる。</p> <p>【内容】</p> <p>全体共有「活動の振り返り」 グループワーク「地域診断の検討」(3つのグループに分かれて) 全体共有「今日の学びについて」 グループワーク 振り返りワークシートの記入(新任者)、研修の振り返り(プリセプター等)</p>	
第2回 R7.2.10	市町村保健師 9 県保健師 1  計 10名	<p>【内容】</p> <p>グループワーク「地域診断様の修正部分を中心に意見交換」 事例検討(3つのグループに分かれて検討) 全体共有「今日の学びについて」 グループワーク 振り返りワークシートの記入(新任者)、研修の振り返り(プリセプター等)</p>	
保健師 専門研修 R6.12.3	市町村保健師 4 県保健師 1  計 5名	<p>【目的】</p> <p>公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法を習得できる。</p> <p>(1) 個・集団・地域の連続性をとらえた保健活動の方法がわかる。</p> <p>(2) 上記(1)の獲得にむけて実践し、課題を明確にできる。</p> <p>【内容】</p> <p>グループワーク、全体検討 「個・集団・地域の健康課題の連続性と保健師活動の検討シート」による検討 全体検討 まとめ(事前レポートの作成の学びと実践で役立ったこと。頑張ったこと等。 新任者：振り返りワークシートの記入 ワークシートの記入、記載が終わったら情報交換 指導者：研修の振り返り 今日の研修の進め方、目標設定の達成度、育成上の困りごと・共有したいことについて情報交換</p>	

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
<b>新潟</b>			
保健師 専門研修 第1回 R6.10.22	市町村保健師 2 県保健師 1 計 3名	【目的】 (1) 公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法が理解できる。 (2) 採用後の活動を振り返り、自己の課題に気づき、今後の目標を設定することができる。 【内容】 ・これまでの活動の振り返り ・事例検討 ・本日の振り返り	
第2回 R7.2.6	市町村保健師 2 県保健師 1 計 3名	【内容】 ・第1回の振り返り ・地区診断に関する検討 ・保健師専門研修 全体の振り返り	
管内保健師代 表者会議 R7.3.3	市町保健師 7 県保健師 3 計 10名 (統括的な立場にある保健師及びそれを補佐する立場にある保健師等)	【目的】 拡大する保健活動に対応していけるよう、管内の保健師代表者で保健師の人材育成について意見交換するとともに、災害時の体制や保健活動について課題を共有し検討することで、効率的・効果的な保健活動の展開につなげる。 【議題】 (1) 情報提供 ・新潟県庁における統括保健師の配置について (2) 情報共有・意見交換 ・災害時の体制や保健活動について ・現任教育について (3) その他	
<b>三条</b>			
保健師 専門研修 第1回 R7.1.8	市町保健師 8 県保健師 1 計 9名	【目的】 (1) 公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法が理解できる。 (2) 採用後の活動を振り返り、自己の課題に気づき、今後の目標を設定することができる。 【内容】 テーマ「地域診断(地域健康課題の明確化)」	
第2回 R7.1.16	市町保健師 8 県保健師 1 計 9名	【内容】 テーマ「継続した個別支援過程のふりかえり(対象の理解と支援内容)」	

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
保健師 専門研修 R7.2.5	市町保健師 3 県保健師 1 計 4名	【目的】 公衆衛生看護の専門能力（個人・家族への支援、集団・地域への支援）について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法を習得できる。 【内容】 ・課題の報告（個別事例と地域・地域の健康課題とその要因について、社会資源についての関連図） ・まとめ・振り返り（2年間の研修・現場を通して学んだことや苦慮した点、次年度（3年目）に取り組みたいこと、目標。	
<b>長 岡</b>			
保健師 専門研修 第1回 R6.12.26	市町保健師 6 県保健師 1 計 7名	【目的】 （1）公衆衛生看護の専門能力（個人・家族への支援、集団・地域への支援）について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法が理解できる。 （2）採用後の活動を振り返り、自己の課題に気づき、今後の目標を設定することができる。 【内容】 テーマ 地域診断 ・情報共有・意見交換 「採用後の活動の振り返り」 ・グループワーク 地域診断 ・情報共有・意見交換 「検討後の気づき・今後の課題」	
保健師 専門研修 第2回 R7.2.10	市町保健師 6 県保健師 1 計 7名	【内容】 テーマ 個別支援（事例検討） ・情報共有・意見交換 「第1回以降の活動の振り返り」 ・グループワーク 個別支援（事例検討） ・情報共有・意見交換 「検討後の気づき・今後の課題」	
保健師 専門研修 R7.1.21	市町保健師 6 県保健師 1 計 7名	【目的】 公衆衛生看護の専門能力（個人・家族への支援、集団・地域への支援）について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法を習得できる。 【内容】 テーマ「個・集団・地域の連続性をとらえた活動の実践に向けて」 ・連続性検討シートの検討 ・情報共有・意見交換 「検討後の振り返り、今後の目標」	

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
<b>南魚沼</b>			
保健師 専門研修 第1回 R6.9.25	市町保健師 2 県保健師 2 計 4名	<b>【目的】</b> (1) 公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法が理解できる。 (2) 採用されてからの活動を振り返り、自己の課題に気づき、今後の目標を設定できる。研修の場で意見交換する中で顔の見える関係を作り、お互いの成長を促していく。 <b>【内容】</b> (1)オリエンテーション (2)事例検討(1事例 40分 事例概要説明 5分、情報整理(15分) アセスメント(15分) 支援計画 5分) (3)情報共有・意見交換 活動の振り返り・事例検討後の気づき等 (4)まとめ・次回の課題等について連絡	
保健師 専門研修 第2回 R6.12.16	市町保健師 2 県保健師 2 計 4名	<b>【内容】</b> (1)オリエンテーション (2)事例検討の振り返り (3)地域診断発表と検討(1人 60分(説明 15分、意見交換 35分、まとめ 5分、振り返り 5分)) (4)検討後の気づき、今後の課題について検討 (5)今回の研修での学び、入職後の活動の振り返り 事後課題 事例検討・地域診断シートの修正、提出(R7年2月7日まで)	
保健師 専門研修 R7.1.20	市町保健師 2 県保健師 2 計 4名	<b>【目的】</b> 公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法を習得できる。 研修の場で自己の活動を振り返り、意見交換する中で、参加者同士顔の見える関係を作り、お互いの成長を促していく。 <b>【内容】</b> 1 オリエンテーション・専門 研修の振り返り 2 「個・集団・地域の連続性をとらえた活動の実践」 説明 15分+意見交換 40分+指導者・発表者感想 5分×4人 3 指導者と新任期に分かれて意見交換 4 まとめ・連絡	

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
対人援助研修	市町保健師 11 県保健師 7 計 18名	【目的】 管内の対人援助に関わる職員を対象として、個の支援を通して地区活動や効果的な保健活動への展開について考え、今後の活動に活かしていく。 【内容】 講義と演習「対人援助に関わる職員が行う家庭訪問」	北里保健衛生専門学院 保健看護科 講師 三宅 久枝
魚沼圏域 保健師代表者 会議	市町保健師 9 県保健師 4 計 13名	【目的】 魚沼圏域内の統括的立場の保健師が参集し、意見交換すると共に統括保健師の役割について検討する。 災害発生時の保健活動について、各所属の準備状況を共有し、自組織の災害時の体制整備に役立てる。 【内容】 1 開会、あいさつ 佐藤副部長 2 意見交換 (1) 統括保健師の配置と役割について 質疑応答・意見交換 (2) 災害発生時の保健活動について 3 情報交換 資料3 記録のDX化、地区活動と業務分担、ケース対応、人手不足 4 まとめ、連絡	
<b>上 越</b>			
保健師 専門研修 第1回 R6.11.1	市町村保健師 4 県保健師 2 計 6名	【目的】 (1) 新採用1年目の保健師が指導を受けながら担当地区の情報を収集・分析し、健康課題を明確化するための視点を理解できるようにする。 (2) 新採用1年目の保健師が事例検討をとおし個別支援の展開について理解し実践できるようにする。 【内容】 1 PDCAサイクルに基づく地域診断の発表・検討	
第2回 R7.2.28	市町村保健師 4 県保健師 2 計 6名	【内容】 1 個別事例 発表・検討 2 話し合い「1年間を振り返って」	
保健師 専門研修 R6.11.28	市町村保健師 3 県保健師 1 計 4名	【目的】 公衆衛生看護の専門能力(個人・家族への支援、集団・地域への支援)について理解し、専門能力の獲得に向けての実践方法を習得できる。 (1) 個及び地域の健康課題を分析することで、個・集団・地域の連続性を理解することができる。 (2) 上記(1)の獲得に向けて次の専門研修 までの間実践し、課題を明確にできる。 【内容】 1 グループワーク「個・集団・地域の健康課題の連続性と保健活動」 2 話し合い「保健師活動の振り返りと今後に向けて必要なこと」	

研修名 実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師等 (敬称略)
上越圏域採用 5年目 保健師研修会  R6.12.6	市町村保健師 4 計 4名	<p>【目的】</p> <p>採用5年目の保健師が指導を受けながら複雑な事例の支援を必要に応じてできるようにする。また、指導を受けながら対象の主体性を踏まえ、支援に必要な資源を導入及び調整できるようにする。</p> <p>【内容】</p> <p>(1)事例検討(連携・調整、他問題、処遇困難ケース)</p> <p>(2)話し合い「保健師活動の振り返りと今後に向けて必要なこと」</p> <p>(3)助言・まとめ</p>	新潟県立看護大学 地域生活看護学領域 (地域看護学) 教授 高林 知佳子
<b>佐 渡</b>			
保健師専門 研修  第1回 R6.11.12	県保健師 1 計 1名	<p>【目的】</p> <p>新潟県職員保健師は、個人及び地域全体の健康の保持増進及び疾病の予防を図るため、配属された部署において市町村・多職種と連携しながら地域特性に応じた保健活動(地域づくり)を実践することが求められている。そのため、キャリアラダーのレベルに合わせた専門的な知識と技術を習得することを目的に研修を実施する。</p> <p>【内容】</p> <p>1 地域診断の検討</p> <p>2 研修の学びの共有、意見交換</p> <p>(1)新採用者：研修の学びをワークシートに記載</p> <p>(2)プリセプター及び指導者等：意見交換</p> <p>3 プリセプター及び指導者等と今後の取組みについて相談、内容の共有</p>	
第2回 R7.3.3	県保健師 1 計 1名	<p>【内容】</p> <p>1 事例検討</p> <p>2 研修の学びの共有、意見交換</p> <p>(1)新採用保健師：研修の学びをワークシートに記載</p> <p>(2)プリセプター及び指導者等：意見交換</p> <p>3 プリセプター及び指導者等と今後の取組みについて相談、内容の共有</p>	

<p>保健師専門 研修 R7.2.4</p>	<p>市保健師 2 県保健師 1 計 3名</p>	<p><b>【目的】</b> 新潟県職員保健師は、個人及び地域全体の健康の保持増進及び疾病の予防を図るため、配属された部署において市町村・多職種と連携しながら地域特性に応じた保健活動（地域づくり）を実践することが求められている。そのため、キャリアラダーのレベルに合わせた専門的な知識と技術を習得することを目的に研修を実施する。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>1 「個・集団・地域の健康課題の連続性と保健師活動の検討シート」による検討</p> <p>2 研修の学びの共有、意見交換 (1)新任者：振り返りワークシートの記入、現在の悩み等の意見交換 (2)プリセプター・指導者（教育担当者）：研修の振り返り</p> <p>3 プリセプター・指導者（教育担当者）と今後の取組みを相談、共有</p>	
--------------------------------	-----------------------------------	--	--

ウ 訪問相談員等育成研修事業（健康づくり支援課難病等対策係主管）

実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師
<b>新発田</b>			
R6.7.4	医師・保健師・ 看護師等 32名	Zoomによるオンライン研修 1 講義「パーキンソン病」 2 講義「パーキンソン病の転倒予防と生活環境について」 3 実践報告「パーキンソン病患者の在宅療養支援」	県立新発田病院神経内科 医師  脳神経センター阿賀野病院 理学療法士 居宅介護支援センターはなみずき 介護支援専門員
R6.11.28	医師・保健師・ 看護師等 93名	参集とオンラインのハイブリッド開催 1 講義「筋萎縮性側索硬化症」 2 講義「ALS患者のリハビリ支援」 3 講義「難病（ALS）患者の心理的支援と意思決定支援」	県立新発田病院神経内科 医師  訪問看護ステーション中条愛 広苑 理学療法士 西新潟中央病院 心理療法士
R7.1.30	医師・保健師・ 看護師等 55名	Zoomによるオンライン研修 1 講義「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症」 2 講義「脊髄小脳変性症患者へのリハビリ支援について」 3 実践報告「重度訪問介護について」 4 情報提供「汎用 ICT 機器を活用したコミュニケーション支援について」	県立新発田病院神経内科 医師  とよら訪問看護ステーション 言語聴覚士 ユースタイルラボトリー株式会社 エリアマネージャー 新潟県地域おこし協力隊
<b>新津</b>			
R7.2.5	保健師・看護師 介護支援専門員 等 20名	Zoomによるオンライン研修 1 情報提供「新潟地域振興局管内の受給状況及び当部の取組について」 2 講義「パーキンソン病の基礎知識」 3 講義「パーキンソン病の転倒予防と日常生活について」	新潟地域振興局健康福祉部職員  新潟大学脳研究所 医師 阿賀町訪問看護ステーション 理学療法士
<b>三条</b>			
R6.12.13	介護支援専門員 12名	参集型による研修 ・ALS患者事例紹介 ・グループワーク	さわたりの郷指定居宅介護支援サービスセンター 介護支援専門員
<b>長岡</b>			
R6.6.13	保健師・看護師等 20名	参集型による研修 ・講義「ALSについて」	新潟大学脳研究所 医師
R6.9.18	保健師・看護師等 14名	参集型による研修 ・講義「パーキンソン病の理解～その症状と対策」	堀川内科・神経内科医院 医師

実施年月日	対象・受講者数	研修方法・内容	講師
<b>南魚沼</b>			
R6.12.19	保健師・看護師等 35名	参集型による研修 ・講義/演習「在宅・施設における航空・嚥下機能の観察評価」 ・講義/演習「難病患者の食支援について～美味しく食べる喜び～」	訪問リハビリテーションりらいふ 言語聴覚士  認定栄養ケア・ステーションよりそいーと魚沼 管理栄養士
<b>十日町</b>			
R6.6.26	保健師・看護師等 40名	オンライン研修 講義「パーキンソン病とパーキンソン症候群の理解」	津南町在宅介護支援センター 介護支援専門員  国立病院機構西新潟中央病院 心理療法士
R7.2.27	保健師・看護師等 8名	参集とオンラインのハイブリッド開催 講義「ICT 機器を利用して生活を豊かに」	新潟県地域おこし協力隊
<b>柏崎</b>			
R6.12.6	保健師・看護師・介護支援専門員等 23名	参集型による研修 事例紹介 グループワーク、事例検討 ミニ講座「パーキンソン病の概要と対応」	新潟病院 副看護部長、看護師、 柏崎健康福祉部 保健師
<b>上越</b>			
R7.1.22	介護支援専門員・看護師・保健師等 53名	Zoom によるオンライン研修 (Youtube 配信によるオンデマンド) ・パーキンソン病患者の症状や自宅の環境調整について ・パーキンソン病のコミュニケーション支援やリハビリ職の活用方法について ・自宅でできる体操の実演	理学療法士、作業療法士
<b>糸魚川</b>			
R6.5.30	難病ボランティア 4名	参集型による研修 ・情報提供 「糸魚川地域で暮らす難病患者の現状と支援について」 ・情報提供 「難病相談支援センターの活動内容、相談事例の情報提供について」(Zoom)	糸魚川保健所 保健師  新潟県・新潟市難病相談支援センター 相談員
R6.11.13	保健師・看護師 介護支援専門員等 20名	参集型による研修 ○難病患者支援者研修会 情報提供：「糸魚川地域で暮らす難病患者の現状と支援について」 講義(1)「神経難病患者における日常生活上の工夫と支援」 講義(2)：「身近な ICT 機器を利用した生活について」	糸魚川保健所 保健師  糸魚川総合病院 作業療法士  新潟県地域おこし協力隊
<b>佐渡</b>			
R7.1.29	保健師・看護師 介護支援専門員等 21名	1 講義「パーキンソン病の基礎知識」 2 講義「パーキンソン病患者の在宅での転倒予防とリハビリ」 3 意見交換	堀川内科・神経内科医院 医師 介護老人保健施設 理学療法士

## エ 地域保健関係職員研修事業の実施状況

日程 (研修名)	対象・受講者数	研修方法・内容	講師 (敬称略)
<b>三 条</b>			
R6.11.22 (カスタマーハラスメント対策研修)	三条地域振興局健康福祉環境部及び市町村の職員 22名	1 講義 「カスタマーハラスメント対策研修」 (カスハラ、クレームの区別、カスハラと刑事法、民事法)及びグループワーク	(講師) 片桐・坂西・阿部法律事務所 弁護士 阿部 理順
<b>長 岡</b>			
R6.7.4 R6.11.14 R7.3.18 (社会福祉施設等における感染症対策リーダー研修会)	高齢者入所系施設の施設管理者、感染対策を担当する看護職員、介護職員等、市町担当課職員等 48施設 延べ180名	1 講義 「感染症発生時の対応について」(初動時及び感染拡大時の対応について) 2 グループワーク 第1回「感染症対策のマニュアルの確認・見直し」 第2回「感染症発生初動時の対応について」 第3回「施設における感染症対策の取組について」 3 全体発砲 本研修会の受講をきっかけに取り組んだこと 今後取り組みたいこと まとめ(管内感染管理認定看護師5名から)	1(講師) 立川総合病院 感染管理認定看護師 佐藤 晃
<b>魚 沼</b>			
R6.9.3 R6.12.26 (健康危機管理対応研修 災害時保健医療活動研修)	魚沼市職員及び魚沼地域振興局健康福祉部職員 第1回26名 第2回34名 (市役所職員延べ49名)	第1回 グループワーク及びロールプレイ 所属の災害時マニュアルに基づくもの 第2回 1 講義 「福祉避難所の基本的な考え方～避難所対応における他自治体の事例について～」 2 グループワーク 「避難所における要支援者への対応」	第2回 講師 (公社)中越防災安全推進機構 地域防災力センター長 野村 祐太
<b>南魚沼</b>			
R6.8.29 R6.8.30 (感染予防対策リーダーフォローアップ研修)	H28,29,31(令和元年)令和5年度のリーダー研修修了者 リーダー研修修了者が在籍している施設の管理者 30名	1 情報提供 「感染予防対策リーダー活動実施状況調査まとめ報告」 2 講義 標準予防策の復習 感染予防対策リーダーの役割について 3 グループワーク 「施設内でリーダー役割を発揮し、施設全体で感染対策に取り組むためにできること」 「PDCA サイクルを意識した効果的な施設内研修の進め方」 「施設内でリーダーを支援するために必要なこと、実施できること」 4 発表まとめ	1 発表者 南魚沼保健所医薬予防課 保健予防係 米谷 2 講師 魚沼基幹病院感染管理部 看護係長(感染症認定看護師) 目崎 恵

日程 (研修名)	対象・受講者数	研修方法・内容	講師 (敬称略)
<b>南魚沼</b>			
R6.12.24 (対人援助技術研修)	管内の市町と保健所で 対人援助に関わる職員  25名	1 講義 「対人援助に関わる職員が行う家庭訪問」	1 (講師) 北里大学健康科学部看護学科 三宅 久枝
<b>柏崎</b>			
公衆衛生看護 研修復命会 R6.5.2	柏崎市 16 刈羽村 3 当部 5 (うち管理栄養士 1) 総数 24	・令和5年度国立保健医療科学院【短期研修】公衆衛生看護研修(中堅期)復命 「地域ケアシステムの構築(地域診断・計画策定・実施・評価)と施策化につながるプレゼンテーション」	当部地域保健課 主任 鈴木 智恵
公衆衛生看護 研修復命会 R7.2.14	柏崎市 8 刈羽村 2 当部 3 総数 13	・令和6年度国立保健医療科学院【短期研修】公衆衛生看護研修(管理期)概要(説明) ・健康危機管理と管理期保健師の役割(演習) ・人材マネジメントについて(説明)	当部地域保健課 課長代理 柳屋 純子
<b>上越</b>			
R6.11.20 (上越地域社会福祉施設(入所型)感染症対応能力向上研修会)	社会福祉施設(高齢者・ 障害者入所型)の感染症 対策担当者  46施設 46名	1 講義「施設で主に発生する感染症に対する感染対策の基本」 2 実習「ゾーニング及びPPEの着脱と手指消毒方法」 3 グループワーク	(講師) 感染管理特定認定看護師 さいがた医療センター 浦沢 昌恵
<b>糸魚川</b>			
R6.12.12 (感染症対応研修会)	保育所、幼稚園職員等  12施設 16名	1 講義 「保育所・幼稚園等における感染経路別対策 ~ 平時から行う集団感染予防 ~」 2 グループワーク 「集団発生を防ぐための対策について」 3 情報提供 「感染症集団発生時報告等について」	(講師) 新潟県厚生連糸魚川総合病院 感染管理認定看護師 渡辺 祐飛